

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

女子1回戦

主審 坂元 孝浩
副審 村田 寛文

小林 104

(宮崎1位) ○

49 長崎西

● (長崎2位)

26 - 3

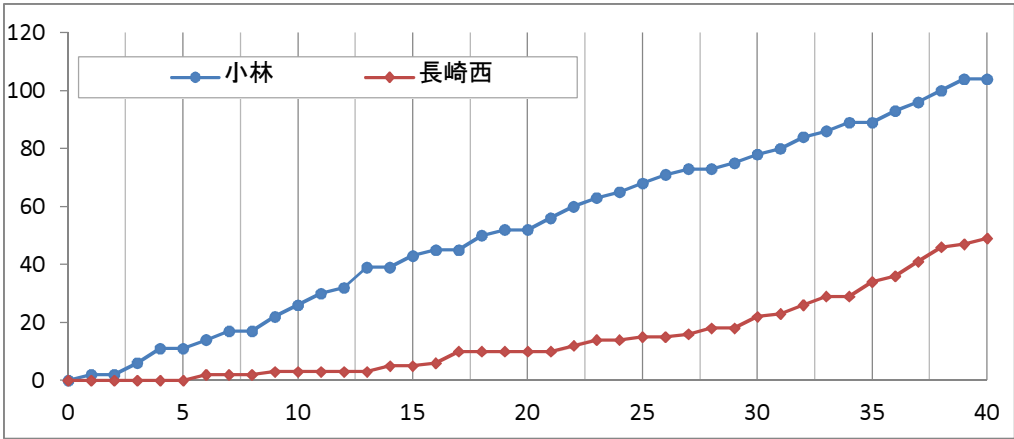
26 - 7

26 - 12

26 - 27

-

No. 20A1 日時: 2015年6月20日(土) 9:00 会場: 鹿児島アリーナA1



小林

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 夏井 麻朱 (C)	0	0	0	0	1
5	* 山田 有紀子	10	0	5	0	2
6	二又 ひなの	7	1	2	0	1
7	渡口 杏奈	6	0	2	2	0
8	* 大石 莉	24	6	3	0	2
9	松崎 扶実子	0	0	0	0	0
10	* 外山 芹香	12	1	4	1	1
11	岩切 満梨乃	4	0	2	0	2
12	成崎 晶	9	0	3	3	1
13	山本 真菜実	5	1	1	0	3
14	六ヶ所 希望	10	0	5	0	2
15	* 加治屋 千遥	17	0	8	1	0
コーチ	前村 かおり					
合計		104	9	35	7	15

長崎西

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 濱口 友希 (C)	11	2	2	1	1
5	清水 萌	-	-	-	-	-
6	* 中山 怜	7	1	2	0	5
7	大曾 涼佳	2	0	0	2	0
8	島崎 ほのか	2	0	1	0	0
9	* 村里 優花	5	0	2	1	4
10	* 片山 菜々	8	1	2	1	1
11	小関 あゆ	6	0	3	0	1
12	山口 茜	3	0	1	1	0
13	久地浦 彩乃	-	-	-	-	-
14	* 津田 美怜	5	1	0	2	1
15	安部 冬実	-	-	-	-	-
コーチ	溝江 和樹					
合計		49	5	13	8	13

* …スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

両高校ともディフェンスは、マンツーマンからのスタートだった。長崎西高校は、小林高校のマンツーマンディフェンスに苦戦を強いられる。小林高校は小林#15加治屋や小林#10外山のリバウンドから早い展開で、小林#5山田や小林#8大石の3Pシュートやミドルシュートが連続して入り、得点を重ねる。小林高校の得点がとまらない。小林#15加治屋のリバウンドシュートやミドルシュートで得点を重ねる。長崎西高校は、タイムアウトをとり、2-2-1オールコートゾーンプレスや2-3などのゾーンディフェンスで、小林高校の攻撃のペースを崩し、攻撃に繋げるが、小林高校のディフェンスのプレッシャーを押しつけることができない。

第3ピリオドに入っても、小林#4夏井のドライブからのレイアップシュートや、ドライブからの小林#8大石のコーナーヘパスを展開してから3Pシュートでさらに、得点を重ねる。長崎西高校も長崎西#9村里や長崎西#6中山のゴール下のシュートやドライブからのレイアップシュートで応戦し、小林高校のチームファウルが蓄積するが、小林高校の勢いは止まらない。第4ピリオドは、長崎西#4濱口の連続3Pシュートやドライブからのレイアップシュートや、リバウンドからの早い展開で長崎西#11小関のレイアップシュートや、長崎西#10片山の速攻からのバスケットカウントなどで長崎西高校が猛攻を見せる。小林高校は、小林#12成崎のドライブからディフェンスを引き付けてのパスを展開し、小林#6二又ミドルシュートや小林#6二又のドライブからのレイアップシュートで得点を重ねた。

© 2015 Yuzo Kosaka All Rights Reserved Vol.007a 鹿嶋県バスケットボール協会

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

女子1回戦

主審 和田 敏文

副審 野田 宏樹

鹿児島純心 84

(鹿児島1位) ○

18	—	15
18	—	20
26	—	18
22	—	18
—		

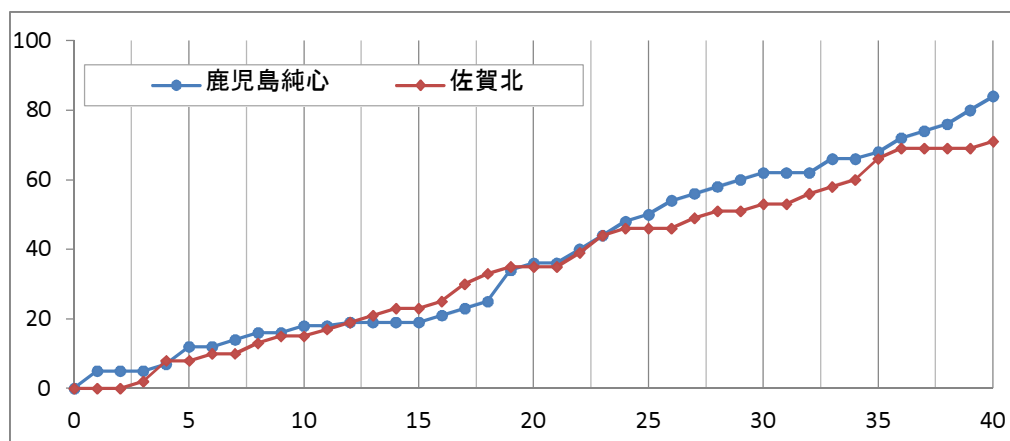
71 佐賀北

● (佐賀2位)

No. 20B1

日時: 2015年6月20日(土) 9:00

会場: 鹿児島アリーナB1



鹿児島純心

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 中山 彩奈 (C)	39	0	19	1	2
5	* 田中 沙紀	6	0	3	0	2
6	竹中 彩絵	8	0	1	6	1
7	田原 ひまわり	—	—	—	—	—
8	* 白石 翔子	5	0	2	1	1
9	中村 百花	0	0	0	0	0
10	* 永井 美帆	20	3	5	1	4
11	村上 梨緒菜	0	0	0	0	0
12	久保 愛后	—	—	—	—	—
13	河野 葵	0	0	0	0	0
14	溝内 幸音	—	—	—	—	—
15	* 窪田 夏帆	6	0	2	2	2
コーチ 小園 裕之						
合計		84	3	32	11	12

佐賀北

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 中島 有香 (C)	16	4	2	0	1
5	脇山 舞子	6	0	3	0	2
6	真子 さつき	—	—	—	—	—
7	* 諸隈 沙希	6	0	2	2	3
8	* 向井 理翠	8	0	4	0	4
9	* 木塚 萌	13	1	5	0	5
10	山下 美空	—	—	—	—	—
11	横尾 采佳	—	—	—	—	—
12	田中 萌々香	—	—	—	—	—
13	馬場 真琴	5	1	1	0	2
14	* 諸隈 愛加	17	5	0	2	2
15	石橋 由妃	—	—	—	—	—
コーチ 中島 耕一						
合計		71	11	17	4	19

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

第1P、鹿純は#10永井の3Pシュートなどで先制するが、佐賀北も#9木塚、#14諸隈愛の3Pシュートなどで対抗、4分で鹿純7-8佐賀北となる。その後は互いに点の取り合いとなるが、鹿純18-15佐賀北で第1Pを終了する。

第2Pに入ると、佐賀北は#5脇山を中心にオフェンスリバウンドからの得点を重ねる。さらに#4中島などの3Pシュートが連続して決まり、7分で鹿純23-33佐賀北と佐賀北が突き放しにかかる。しかし、鹿純は#4中山、#10永井が立て続けのゴールを決め、一気に追い詰める。佐賀北も#9木塚の速攻などで加点するが、鹿純は#10永井のシュートが決まり鹿純36-35佐賀北と逆転に成功して前半を終える。

後半に入ると、鹿純#10永井のドライブ、佐賀北は#14諸隈愛の3Pシュートなどで一進一退の攻防が続く。4分過ぎから鹿純は#4中山を中心に得点を重ね、佐賀北を徐々に突き放しにかかる。残り1分を切って#6竹中がリバウンドシュートを決め鹿純62-51佐賀北と点差が二けたとなる。佐賀北は#8向井が取り返して鹿純62-53佐賀北と9点差で第4Pを迎える。

第4P、佐賀北は#7諸隈沙などのシュートでじわじわと追い上げ、5分過ぎには#4中島の3Pシュートが決まって鹿純70-69佐賀北と1点差に迫る。しかし、ここから鹿純は#4中山が連続8得点、さらにファールからのフリースローを#6竹中が確実に決めた。逆転を狙った佐賀北だが、終盤の得点がのびず、結局鹿純84-71佐賀北で鹿児島純心女子が勝利、2回戦へ駒を進めた。

No.	記者	濱田 浩司	(所属)	鹿児島県バスケットボール協会
-----	----	-------	------	----------------

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

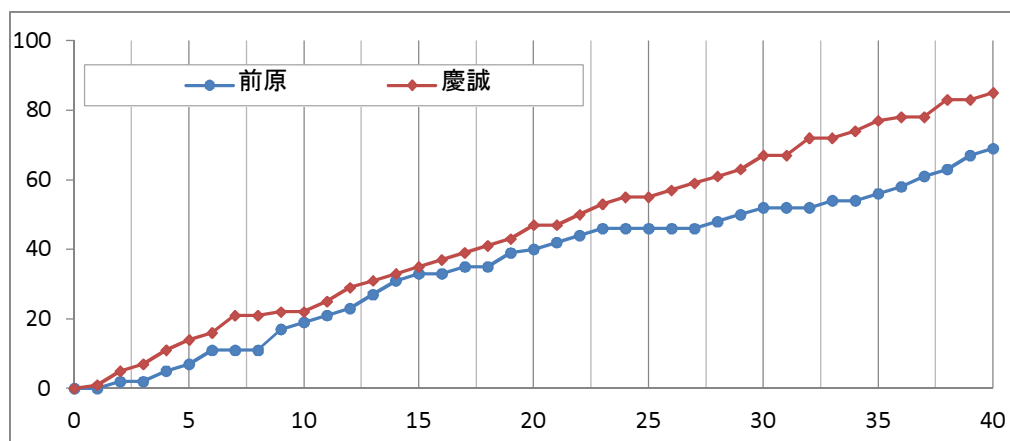
女子1回戦

主審 窪田 淑子
副審 上山 正智前原 69
(沖縄2位) ●

19	—	22
21	—	25
12	—	20
17	—	18
—		

85 慶誠
○ (熊本1位)

No. 20C1 日時: 2015年6月20日(土) 9:00 会場: 鹿児島アリーナC1



前原

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	屋宜 ももこ	0	0	0	0	0
5	* 宮城 千奈	17	1	7	0	4
6	伊波 弘夏	0	0	0	0	0
7	* 富山 つかさ	13	0	4	5	5
8	* 崎原 莉姫	4	0	1	2	3
9	屋宜 可奈子	0	0	0	0	1
10	田原 佳奈	—	—	—	—	—
11	* 上原 ひかり (C)	18	0	5	8	5
12	具志堅 ちとせ	2	0	1	0	0
13	仲地 莉音	—	—	—	—	—
14	* 大城 優衣	10	0	5	0	5
15	嘉陽 梨佳子	5	0	2	1	5
コーチ	西銘 生榮					
合計		69	1	25	16	28

慶誠

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	山野 萌	0	0	0	0	0
5	村上 文香	0	0	0	0	0
6	古田 なつみ	3	1	0	0	0
7	坂西 祐璃	0	0	0	0	1
8	* 中尾 うらら	7	1	1	2	2
9	生田 ひかる	0	0	0	0	0
10	國松 愛依	4	0	0	4	2
11	* 野口 芙希 (C)	20	0	7	6	2
12	* 川口 百合亜	20	0	9	2	1
13	坂口 日奈子	2	0	1	0	3
14	* 白石 楓夏	21	0	8	5	0
15	* 里 茜莉	8	1	2	1	3
コーチ	伊藤 敏幸					
合計		85	3	28	20	14

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

1st 両チームともマンツーマンで始まる。慶誠は#11野口がゴール下でファウルをもらい、フリースローで先制すると、高さを生かし#12川口とともにゴール下でシュートをねじ込む。対する前原はオールコートマンツーマンでプレッシャーをかけミスを誘いながら、小さいながらもスピードを生かし#11上原のドライブからの1対1でファウルをもらいフリースローをきっちり決めるなど19-22で終える。2nd 開始直後、慶誠は#15里が3P沈め、#11野口の速攻や粘り強いゴール下により23-31と突き放すと、前原も#11上原のドライブからの得点でリズムを取り戻すと、#7富山のミドルシュートなど3連続ゴールを決め29-31と追いつがる。しかし、慶誠の高さを生かした攻撃は続き#12川口が体を張ったプレイで33-39とすると前原がたまたまタイムアウト。その後一進一退の攻防が続き40-47で終える。3rd 慶誠は#8中尾の3Pや#11野口、#14白石のゴール下で得点を重ねていくのに対し、前原はスピードを生かし相手の裏をとる絶妙なプレイを見せるが、シュートがリングにことごとく弾かれ46-59と13点差となり堪らずタイムアウト。その後落ち着きを取り戻すが点差は縮まらず、52-67で終える。4th 慶誠は#11野口、#14白石の体を張ったプレイでファウルをもらいながら得点を重ね74-54と20点差とすると、前原はここで再びオールコートマンツーマンで流れを変えようと試みる。しかし、#7富山が5ファウルで退場となり、さらにチームファウルも溜まり流れを取り戻すことなく69-85で試合終了のブザーが鳴る。

記者	和田 秀宣	(所属)	鹿児島県バスケットボール協会
----	-------	------	----------------

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

女子1回戦

西日本短大附 63

(福岡2位) ○

54 藤陰

● (大分1位)

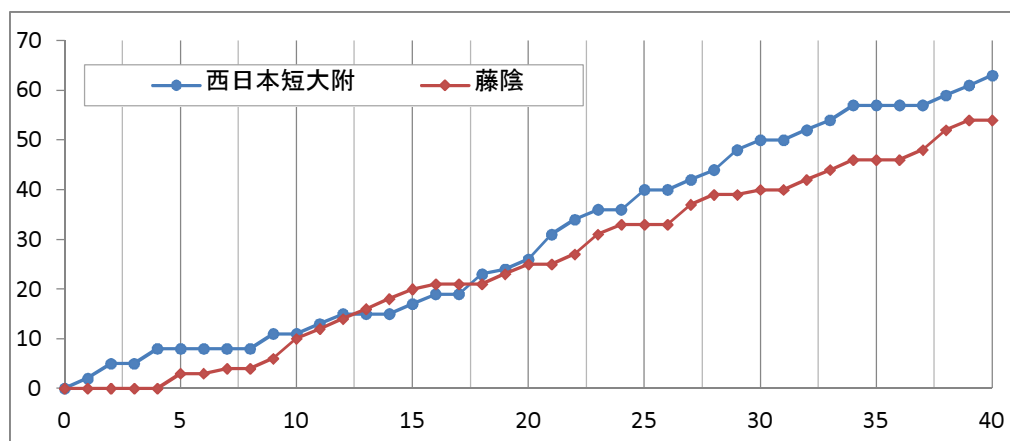
主審 松本 究

副審 角田 杏子

No. 20D1

日時: 2015年6月20日(土) 9:00

会場: 鹿児島アリーナD1



西日本短大附

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 大関 采 (C)	8	0	3	2	2
5	* 小林 永旺	33	2	12	3	0
6	重松 真央	0	0	0	0	1
7	* 岩井 芹奈	5	0	2	1	4
8	大坪 里杏	-	-	-	-	-
9	江頭 春樹	-	-	-	-	-
10	杉 亜佑美	-	-	-	-	-
11	仲 晃子	-	-	-	-	-
12	安丸 彩	-	-	-	-	-
13	* 西 美月	5	1	1	0	3
14	四宮 萌夏	-	-	-	-	-
15	* 杉 咲里奈	12	0	6	0	2
コーチ 萩尾 誠治						
合計		63	3	24	6	12

藤陰

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 竹原 美紅	8	0	3	2	4
5	* 渡辺 りおん (C)	28	0	10	8	1
6	* 若狭 美幸	2	0	1	0	3
7	* 日野 茉莉	5	0	2	1	4
8	森田 里奈	5	1	1	0	2
9	工藤 瑞希	-	-	-	-	-
10	豆田 麗好	-	-	-	-	-
11	金納 千文	-	-	-	-	-
12	中島 梨菜	-	-	-	-	-
13	* 平川 あいか	6	0	3	0	0
14	中島 麗菜	-	-	-	-	-
15	ストークスティアナ 見佳	0	0	0	0	0
コーチ 田邊 スナ子						
合計		54	1	20	11	14

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

両チームともハーフコートマンツーマンでスタートした。序盤から、身長 mismatch を生かし藤陰 #5 渡辺へボールを集め、ポストプレーで点数をとろうとする。それに対して、西短 #15 杉、#7 岩井でWチームにいき、そこから出たボールを、#5 小林がスティールして速攻という場面が何度もあった。藤陰は1クォーター開始5分で#5 渡辺のスティールから速攻がうまれるが、なかなかチャンスを点数につながらない。ディフェンスから速い展開で点数をとる西短に対し、ハーフコートオフェンスで着実にいく藤陰の1クォーター最終スコアは11-10と拮抗していた。2クォーターも両チームの点数の取り方は同様な展開が続いた。西短は早い展開の中でも#15 杉のミドルショットで点数を稼いでいく。それに対し、藤陰は#5 渡辺がターンシュートを中心にポストプレーで点数をとる。西短の徹底したスクリーンアウトが、藤陰のオフェンスを単発にさせていった。2クォーター最終スコアは26-25で西短がリードして前半終了。

後半開始直後、西短はスクリーンを多用し、空いたスペースに#5 小林が飛び込み点数をとる。ディフェンスでも#5 小林と#4 大関を中心にポストマンへボールが入る前にプレッシャーをかけ、スティールをだし藤陰のハーフコートオフェンスをさせない展開が続いた。その結果、50-40で10点差をつけて3クォーターが終了。4クォーター開始直後、藤陰はディフェンスをオールコート2-2-1と1-2-1-1、ハーフコート3-2に変えた。1-2-1-1では#5 渡辺がスティールから、流れを藤陰に呼び込んだ。3-2ディフェンスでは身長差を活かし、ディフェンスリバウンドを制した。しかし、西短 #13 西の3P、#15 杉のミドルショットなどで着実に点数を伸ばし、追いつこうとする、藤陰を下し、63-54西短が勝利した。

No.
選手氏名
得点
3P
2P
FT
F

主審
副審
日時
会場

西日本短大附
藤陰

合計

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

女子1回戦

主審 御手洗 亮

副審 山中 萌衣

熊本国府 70

(熊本2位)



22	—	16
15	—	31
13	—	28
20	—	24
—		

99 福大若葉

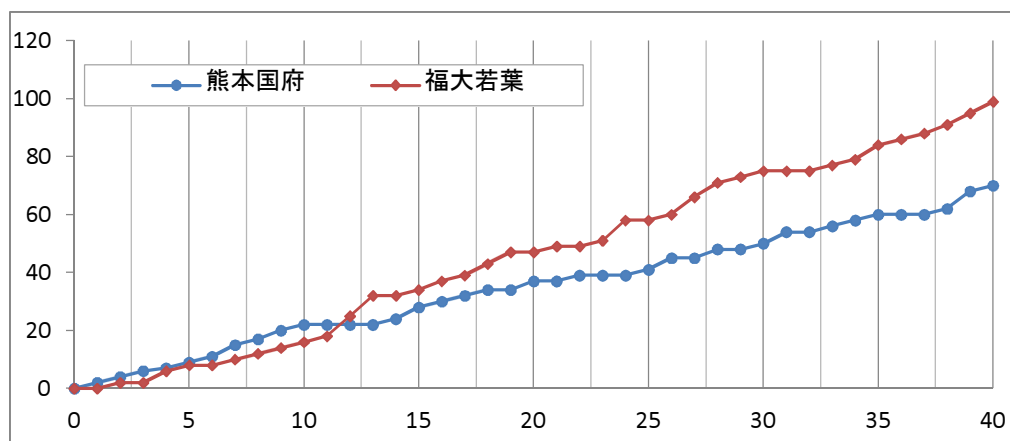
(福岡1位)



No. 20A2

日時: 2015年6月20日(土) 10:30

会場: 鹿児島アリーナA2



熊本国府

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 大槻 真子 (C)	2	0	1	0	3
5	橋口 華奈	2	0	0	2	3
6	* 松川 李奈	4	0	2	0	3
7	田中 千尋	0	0	0	0	0
8	川端 美紗稀	4	0	2	0	0
9	大内 梨菜	0	0	0	0	0
10	* 橋口 樹	30	0	11	8	1
11	松本 美月	3	1	0	0	1
12	井上 祐菜	0	0	0	0	0
13	高島 里和	0	0	0	0	0
14	* 川端 日菜子	19	0	8	3	4
15	* 久保下 真帆	6	0	2	2	5
コーチ 皆本 秀一郎						
合計		70	1	26	15	20

福大若葉

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 永野 倫后 (C)	9	0	4	1	3
5	* 内尾 聡菜	32	0	11	10	1
6	福本 萌香	0	0	0	0	2
7	* 渡辺 満里奈	18	0	8	2	2
8	笠井 桜可	2	0	1	0	0
9	嘉数 唯	5	0	2	1	0
10	中嶋 まひろ	0	0	0	0	0
11	* 三輪 真子	17	5	1	0	2
12	鬼塚 彩乃	2	0	1	0	0
13	曾我部 希子	2	0	1	0	0
14	沼野 かえで	3	0	1	1	1
15	* 二ノ宮 可南	9	0	4	1	4
コーチ 池田 憲二						
合計		99	5	34	16	15

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

両チーム共にマンツーマンでスタートした。共にターンオーバーが続き点数が伸びないが、5分過ぎから熊本国府#14川端、福大若葉#15二ノ宮のジャンプシュートなどで両チームともにリズムを取り戻し、1Qを熊本国府が22-16と6点リードで終える。2Qになると福大若葉は3連続得点ですぐに同点に追いつくと、熊本国府はTOをとる。しかし、福大若葉の勢いは止まらず32-22と10点差になったところで熊本国府は前半2回目のTOをとる。熊本国府は#10橋口のゴール下などで必死に追い上げるが、福大若葉も#5内尾の3連続得点等で一進一退の攻防続き前半を福大若葉が47-37の10点リードで終える。3Qになると福大若葉は前半だけで17得点の熊本国府#10橋口に対し、ディフェンスでプレッシャーをかけ得点を止める。同時にオフェンスでは#11三輪の連続3P、#5内尾のゴール下等で勢いに乗り75-50とリードを広げる。4Qになると熊本国府は#14川端の速攻等で追い上げる。さらに残り7分、77-56となったところでTOをとるとゾーンプレスで必死に食い下がる。しかし福大若葉は速攻から#7渡辺のレイアップ、#9嘉数のジャンプシュート等で冷静に加点し99-70で福大若葉が勝利した。

記載者 有馬克仁 (所属) 鹿児島県バスケットボール協会

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

女子1回戦

主審 田上 敬一

副審 有働 千夏

鹿児島女子 60

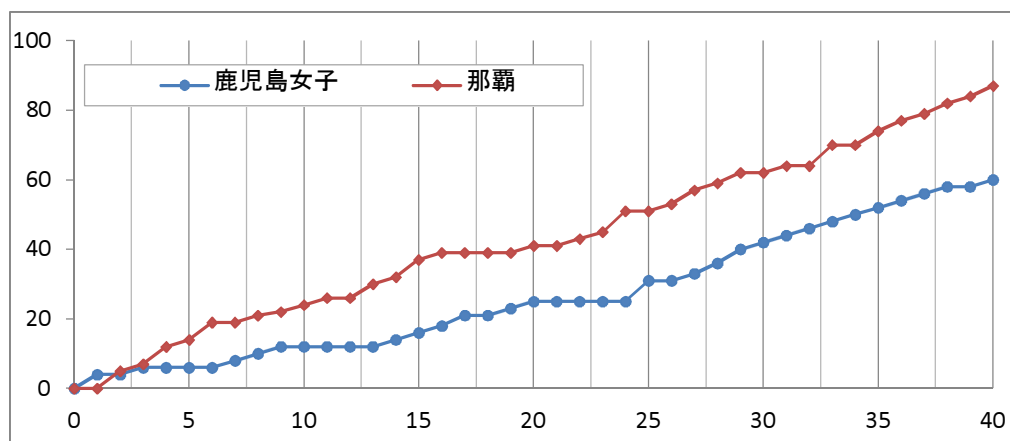
(鹿児島2位) ●

12	—	24
13	—	17
17	—	21
18	—	25
—		

87 那覇

○ (沖縄1位)

No. 20B2 日時: 2015年6月20日(土) 10:30 会場: 鹿児島アリーナB2



鹿児島女子

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 中村 遥 (C)	12	0	6	0	1
5	* 江頭 凜音	2	0	1	0	5
6	今村 涼佳	2	0	1	0	1
7	* 上園 絢美	23	0	11	1	3
8	瀬戸口 未夏	8	0	3	2	0
9	* 佐伯 雅	5	1	1	0	0
10	* 中丸 奈津美	6	0	3	0	3
11	武 萌絵	—	—	—	—	—
12	折田 那緒	0	0	0	0	0
13	岡村 優美	2	0	1	0	0
14	山之内 麗	—	—	—	—	—
15	米澤 めい	0	0	0	0	1
コーチ 福寄 博之						
合計		60	1	27	3	14

那覇

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 具志堅 茅乃 (C)	10	0	4	2	0
5	* 喜納 璃理華	6	0	2	2	1
6	* 中山 美可子	28	4	8	0	1
7	仲田 歩海	—	—	—	—	—
8	* 外間 瑞季	12	1	3	3	1
9	山川 美紅	6	0	3	0	2
10	諸見田 ひかり	7	0	3	1	1
11	前新屋 愛美	4	0	2	0	1
12	* 金城 みゆ	7	0	3	1	2
13	仲宗根 悠	2	0	1	0	0
14	瀬長 杏南	4	0	1	2	1
15	亀田 みすず	1	0	0	1	2
コーチ 屋嘉 謙呉						
合計		87	5	30	12	12

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

1Q両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。立ち上がり鹿女子#10中丸が、ミドルシュートを二連続決め流れに乗るが、那覇も#6中山の連続ゴールで攻め返す。1Q中盤、鹿女子は那覇のディフェンスに苦しみ、ハーフコートオフェンスが決まらない。那覇は、リバウンドからの速攻を立て続けに決め、ゲームの流れを作る。リバウンドでも那覇が優位に展開、少しずつ点差を広げ、12対24で1Q終了。2Q序盤、那覇は、マンツーマンディフェンスから#6中山の速攻など3連続ゴールで突き放し、21点差とする。鹿女子は、ハーフコートオフェンスに苦しむも、ディフェンスで踏ん張り、#8瀬戸口の2P、#9佐伯の3Pなどで追い上げをはかる。中盤、両チームともミドルシュートが決まらず、一進一退の攻防が続く。2Q残り2分、鹿女子#7上園の2ブロックと速攻などから、ゲームを立て直し、16点差で2Q終了。3Q両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。那覇は、ポストへのダブルチームを徹底し、鹿女子#7上園を苦しめる。鹿女子は、ミドルシュートなどで応戦するが、得点が決まらず、逆にリバウンドからの速攻で那覇の連続ゴールを許す。3Q中盤、那覇は#6中山、#8外間の1対1やリバウンドからのセカンドショットで流れを作り、26点差まで広げる。終盤、鹿女子は#7上園の連続ゴール、#4中村の連続ゴールで粘りを見せ、42対62で3Q終了。4Q立ち上がり、鹿女子はオールコートマンツーマンでしかける。那覇は、これを確実に運び、タフショットを沈めていく。鹿女子は、#7上園のミドルシュートなどで応戦。一進一退の時間帯が続く。終盤、那覇は、#12金城のバスケットカウントを含む連続得点で突き放す。鹿女子は、速攻の展開に持ち込もうとするが、シュートがうまく決まらない。那覇が、最後まで粘り強いディフェンスを見せ、60対87で勝利を納めた。

No.	記者	古賀 久徳	(所属)	鹿児島県バスケットボール協会
-----	----	-------	------	----------------

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

女子1回戦

主審 山口 波穂
副審 森山 知佳

延岡学園 89

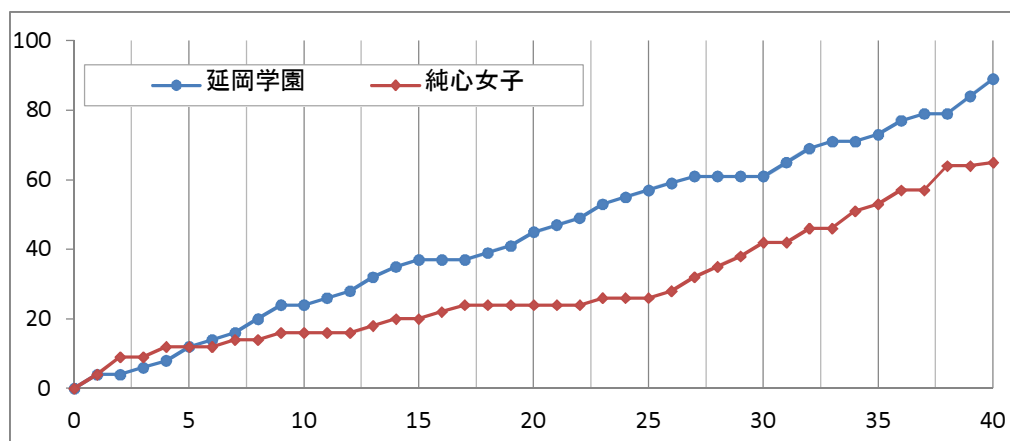
(宮崎2位) ○

24	—	16
21	—	8
16	—	18
28	—	23
—		

65 純心女子

● (長崎1位)

No. 20C2 日時: 2015年6月20日(土) 10:30 会場: 鹿児島アリーナC2



延岡学園

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	徳満 響希	0	0	0	0	1
5	バ ブルメイレ アブドル	0	0	0	0	0
6	河原 真香	2	0	0	2	1
7	* 千々岩 美菜	8	0	4	0	3
8	柳田 波希	0	0	0	0	2
9	* 岩崎 みなみ (C)	7	1	2	0	1
10	尾前 真優	7	0	3	1	0
11	* 白川 万智	6	0	3	0	3
12	稲留 玲奈	0	0	0	0	1
13	* 小松 由奈	2	0	1	0	0
14	赤木 夏海	3	0	1	1	1
15	* ニャン アラム	54	0	25	4	0
コーチ 内村 昌弘						
合計		89	1	39	8	13

純心女子

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 小林 葉 (C)	29	3	6	8	4
5	* 狩浦 美優	12	0	4	4	4
6	河嶋 なな	0	0	0	0	0
7	* 岩崎 ひなの	11	1	4	0	3
8	村井 美月	—	—	—	—	—
9	岡部 美咲	—	—	—	—	—
10	* 荒木 裕美	6	0	3	0	1
11	* 吉田 光	4	0	2	0	3
12	日高 理子	0	0	0	0	0
13	勝田 結菜	—	—	—	—	—
14	池 愛華	0	0	0	0	0
15	前田 芽生	3	0	1	1	0
コーチ 大久保 千万太						
合計		65	4	20	13	15

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

第1ピリオド、立ち上がり、延岡学園は#15ニャンのゴール下シュートで得点をあげる。対する純心女子は#5狩浦のゴール下シュートや#7岩崎のミドルシュートで応戦。得点の応酬が続く中、延岡学園#15ニャンのゴール下の連続得点が決まり点差を広げる。延岡学園が流れをつかんだまま24対16延岡学園8点リードで終了。第2ピリオド、延岡学園は#15ニャンのインサイドを中心とした攻撃で着実に得点を重ねる。対する純心女子は激しいディフェンスからターンオーバーを誘い、#4小林のジャンプシュートやフリースローなどで得点をあげるも、攻撃の活路を見いだせないまみリズムに乗れず、第2ピリオド45対24延岡学園リードで終了。第3ピリオド、延岡学園#15ニャンのゴール下や#7尾前のミドルシュートなどでリズムを保ったまま着実に得点していく。一方、純心女子は、局面の打開を図ろうと果敢にシュートをねらいこいく。#5狩浦や#4小林のレイアップシュート、#7岩崎や#4小林の3Pで追いつけるも、点差を縮めることができず、61対42延岡学園リードで終了。第4ピリオド、延岡学園#15ニャンのゴール下の連続得点、#14赤木のジャンプシュートなど安定したゲーム運びを進める。一方、純心女子は#5狩浦のフリースロー、#10荒木のミドルシュート、#7岩崎の3Pやミドルシュートで必死の反撃を試みる。純心女子はディフェンスで最後まで粘りを見せるも、ゴール下を制し、冷静なゲーム運びをした延岡学園が89対65で勝利し、試合終了。

No.	記者	須貝 佳奈子	(所属)	鹿児島県バスケットボール協会
-----	----	--------	------	----------------

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

女子1回戦

主審 隈元 ゆみこ

副審 川井 剛

佐賀清和 72

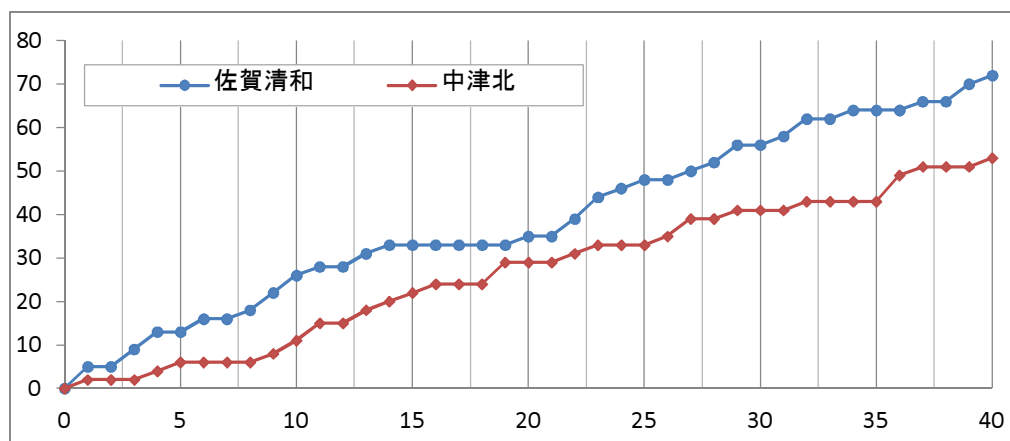
(佐賀1位) ○

26	—	11
9	—	18
21	—	12
16	—	12
—		

53 中津北

● (大分2位)

No. 20D2 日時: 2015年6月20日(土) 10:30 会場: 鹿児島アリーナD2



佐賀清和

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	古館 瑞希 (C)	8	0	3	2	3
5	三津山 由里子	3	1	0	0	0
6	* 山口 愛絵里	9	1	3	0	1
7	塘 千咲	2	0	1	0	0
8	江頭 みなみ	—	—	—	—	—
9	* 前田 司織	17	0	6	5	0
10	* 川副 奈々子	8	0	4	0	2
11	原田 真菜美	—	—	—	—	—
12	吉岡 菜々子	2	0	1	0	1
13	本田 久実	0	0	0	0	1
14	* 本田 万莉	16	0	7	2	3
15	* 松本 亜子	7	0	3	1	1
コーチ 貞松 大						
合計		72	2	28	10	12

中津北

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	梶原 千加 (C)	2	0	1	0	0
5	* 宮本 遥	8	2	1	0	2
6	恩塚 奈菜	6	2	0	0	1
7	* 友成 佑花	14	0	5	4	4
8	光本 咲月	2	0	1	0	0
9	* 清本 優菜	4	0	2	0	1
10	* 中春 真実	11	0	5	1	4
11	友松 実佳	—	—	—	—	—
12	宮崎 真穂里	0	0	0	0	1
13	* 畑中 みつみ	6	0	2	2	1
14	東 真菜	—	—	—	—	—
15	弓崎 結依菜	—	—	—	—	—
コーチ 大津留 礎						
合計		53	4	17	7	14

* …スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

1Q 両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。中津北は清和の激しいプレッシャーの前になかなか点数が決まらず11-2とリードを許す。残り6分中津北のタイムアウト後、中津北#7友成の連続シュートにより点差をつめるも、チームファウルがかさみフリースローや清和#15松本のブレイクからのレイアップなどで26-11で清和が15点リードで1Qを終える。

2Q 中津北はオールコートの2-2-1のゾーンプレスに切り替え#9清本のレイアップや#5宮本の3Pが決まるなど勢いが始まる。一方の清和は#15松本のバスケットカウントやドライブからのあわせで応戦する。中盤両チームともシュートが決まらず守り合いとなるも、残り1分中津北#7友成のフリースローや#10中春のバスケットカウントなどで33-29と点差をつめる。最後は清和#10川副のブザービーターが決まり、35-29で清和が6点リードで前半を折り返す。

3Q 両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。清和は#14本田のローポストからのターンショットなどで点差を広げる。中津北はもう一度オールコートのディフェンスに切り替えるも清和は落ち着いてパスで繋ぎ、#4古館のブレイクや#9前田の連続シュートなどでさらに点差を広げ、56-41の清和リードで3Qを終える。

4Q 序盤は清和#9前田、中津北#8光本のジャンプシュートが決まるなど一進一退のせめぎ合いが続く。残り5分中津北#6恩塚の連続3Pなどで追いつけるも、清和は#10川副の連続シュートが決まり、再びリードを広げ72-53で勝利を収めた。

記者	廣森 拓也	(所属)	鹿児島県バスケットボール協会
----	-------	------	----------------

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

女子2回戦

主審 國吉 由華

副審 原 大典

小林 90

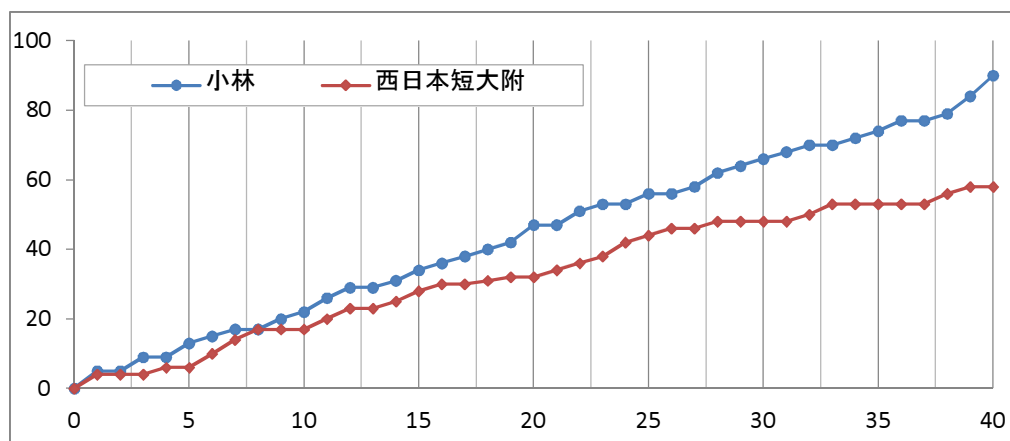
(宮崎1位) ○

22	—	17
25	—	15
19	—	16
24	—	10
—		

58 西日本短大附

● (福岡2位)

No. 20A5 日時: 2015年6月20日(土) 15:00 会場: 鹿児島アリーナA5



小林

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 夏井 麻朱 (C)	8	0	4	0	2
5	* 山田 有紀子	22	0	11	0	3
6	二又 ひなの	0	0	0	0	1
7	渡口 杏奈	4	0	2	0	0
8	* 大石 莉	10	3	0	1	2
9	松崎 扶実子	—	—	—	—	—
10	* 外山 芹香	20	2	6	2	3
11	岩切 満梨乃	2	0	1	0	0
12	成崎 晶	—	—	—	—	—
13	山本 真菜実	0	0	0	0	0
14	六ヶ所 希望	4	0	2	0	0
15	* 加治屋 千遥	20	0	9	2	3
コーチ	前村 かおり					
合計		90	5	35	5	14

西日本短大附

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 大関 采 (C)	18	3	3	3	1
5	* 小林 永旺	13	1	4	2	2
6	重松 真央	0	0	0	0	0
7	* 岩井 芹奈	13	0	6	1	5
8	大坪 里杏	0	0	0	0	2
9	江頭 春樹	—	—	—	—	—
10	杉 亜佑美	—	—	—	—	—
11	仲 晃子	0	0	0	0	0
12	安丸 彩	—	—	—	—	—
13	* 西 美月	8	1	2	1	1
14	四宮 萌夏	—	—	—	—	—
15	* 杉 咲里奈	6	0	3	0	0
コーチ	萩尾 誠治					
合計		58	5	18	7	11

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

スタート直後、西日本短大附は#15杉(咲)のレイアップシュートで先制すると小林は#8大石の3Pですかさず取り返す。その後も小林は#4夏井の鋭いドライブ、#15加治屋のゴール下などで得点を加え、両チームともに快調な滑り出しであった。その後、小林は#15加治屋のゴール下などで最大7点差つけるが西日本短大附は#5小林の速攻などでリズムをつかみ残り2分で同点に追いつく。しかし小林は#10外山が冷静にジャンプシュートを決め、1Qを22-17で終える。2Qになると小林は#5山田を中心にインサイド、逆に西日本短大附は#13西の3Pなど、アウトサイド中心に点数を加え一進一退の攻防を繰り広げる。残り5分34-28となったところで、西日本短大附がTOを取る。逆に小林は#15鍛冶屋のオフェンディバウンドから#10外山がシュートを決めると、#5山田の速攻でリズムをつかむ。終了間際には#8大石の3Pが決まり47-32で2Qを終える。3Q小林はオールコートマンツースで相手のリズムを崩そうとするが、西日本短大附は#4大関、#5小林のジャンプシュートで点差を縮めていく。55-44となったところで小林はTOをとりディフェンスをゾーンにすると西日本短大附が止まる。逆に小林は#15加治屋のゴール下などで着実に点数を加え、66-48と小林の18点リードで3Qを終えた。4Q西日本短大附は、#4大関の3Pなどで追い上げを図るが、小林は#4夏井のドライブ、#7渡口のゴール下などで点差を広げ、90-58で小林が勝利した。

記事者
有馬克仁
(所属) 鹿児島県バスケットボール協会

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

女子2回戦

主審 福岡 敏徳

副審 鈴 秀盛

佐賀清和 76

(佐賀1位) ●

18	—	15
19	—	21
23	—	28
16	—	29
—		

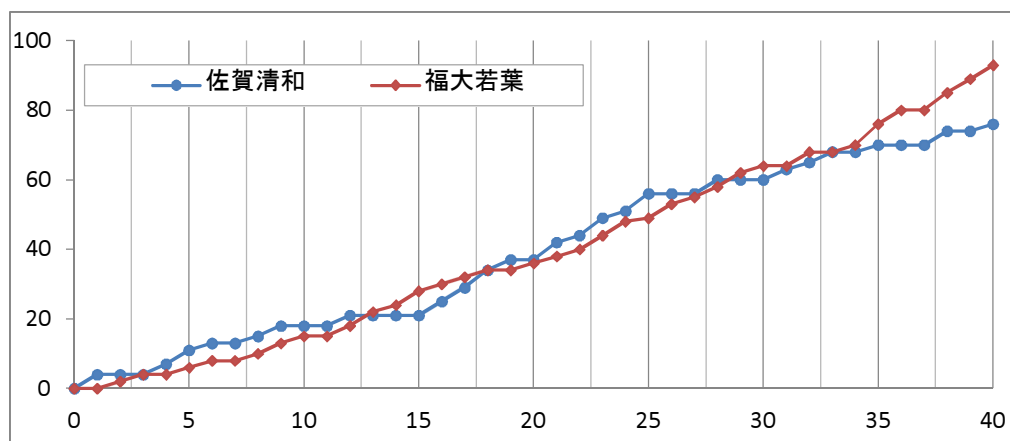
93 福大若葉

○ (福岡1位)

No. 20B5

日時: 2015年6月20日(土) 15:00

会場: 鹿児島アリーナB5



佐賀清和

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	古館 瑞希 (C)	17	0	8	1	3
5	三津山 由里子	—	—	—	—	—
6	* 山口 愛絵里	15	2	3	3	4
7	塘 千咲	—	—	—	—	—
8	江頭 みなみ	—	—	—	—	—
9	* 前田 司織	12	0	5	2	4
10	* 川副 奈々子	0	0	0	0	0
11	原田 真菜美	—	—	—	—	—
12	吉岡 菜々子	0	0	0	0	0
13	本田 久実	0	0	0	0	1
14	* 本田 万莉	19	2	4	5	4
15	* 松本 亜子	13	1	5	0	4
コーチ 貞松 大						
合計		76	5	25	11	20

福大若葉

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 永野 倫后 (C)	15	1	5	2	3
5	* 内尾 聡菜	30	0	11	8	4
6	福本 萌香	2	0	1	0	2
7	* 渡辺 満里奈	13	0	6	1	1
8	笠井 桜可	—	—	—	—	—
9	嘉数 唯	0	0	0	0	0
10	中嶋 まひろ	0	0	0	0	2
11	* 三輪 真子	0	0	0	0	0
12	鬼塚 彩乃	0	0	0	0	0
13	曾我部 希子	0	0	0	0	0
14	沼野 かえで	2	0	1	0	0
15	* ニノ宮 可南	31	0	11	9	2
コーチ 池田 憲二						
合計		93	1	35	20	14

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

立ち上がりは清和が#14本田(万)、#9前田と連続ゴールを奪うが、若葉も#5内尾、#15ニノ宮のゴールで返す。清和はオフエンスリバウンドをものにしてチャンスをつくり、若葉はインサイドプレーを中心にファウルを誘いながら得点を積み上げる。清和が18-15とリードし終了。第2ピリオド、若葉はリング下へ走り込んだ#15ニノ宮がカウント1スローを決めすぐに追いつくが、直後に清和も#14本田(万)がリバウンドからカウント1スローを決める。しかしここから若葉は#5内尾、#15ニノ宮のポストプレーやハイロープレーで一気に得点を重ね、残り5分で28-21と清和に7点差をつける。このまま流れが傾くかと思われたが、若葉にミスが重なり、#4古館と#14本田(万)のドライブからのシュートを中心に17点を積み上げ、清和が37-36とリードして前半を折り返した。第3ピリオドは点の取り合いとなった。若葉は徹底して裏のスペースへのパスを狙い、#5内尾、#7渡辺が得点を重ねるが、対する清和は#6山口、#14本田(万)の3ポイントで突き放す。残り4分半で若葉がタイムアウト。再開後若葉は#5内尾の連続ブレイクから一気に点差を詰め、#15ニノ宮がフリースローで同点に追いつく。さらに残り3分から#4永野が7得点をあげ、若葉が4点リードして第3ピリオドを終了。最終ピリオド立ち上がりは一進一退の攻防となり、残り7分でいったんは清和が同点に追いつく。しかしここから若葉は#5内尾の連続得点を契機に、#4永野のドライブ、#15ニノ宮の高さを生かしたプレーで確実に得点を積み重ね清和を突き放していく。清和もシュートを試みるが、ディフェンスリバウンドを確実に支配した若葉が17点差をつけ勝利を収めた。

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 永野 倫后 (C)	15	1	5	2	3
5	* 内尾 聡菜	30	0	11	8	4
6	福本 萌香	2	0	1	0	2
7	* 渡辺 満里奈	13	0	6	1	1
8	笠井 桜可	—	—	—	—	—
9	嘉数 唯	0	0	0	0	0
10	中嶋 まひろ	0	0	0	0	2
11	* 三輪 真子	0	0	0	0	0
12	鬼塚 彩乃	0	0	0	0	0
13	曾我部 希子	0	0	0	0	0
14	沼野 かえで	2	0	1	0	0
15	* ニノ宮 可南	31	0	11	9	2
コーチ 池田 憲二						
合計		93	1	35	20	14

森園隆志

(所属) 鹿児島県バスケットボール協会

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

女子2回戦

主審 藤城 真理
副審 肥田木 洋之

鹿児島純心 64

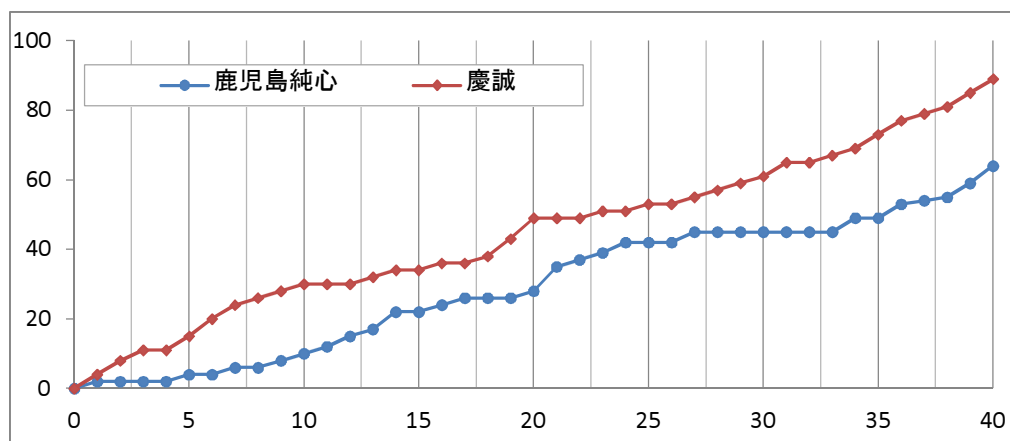
(鹿児島1位) ●

10	—	30
18	—	19
17	—	12
19	—	28
—		

89 慶誠

○ (熊本1位)

No. 20D5 日時: 2015年6月20日(土) 15:00 会場: 鹿児島アリーナD5



鹿児島純心

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 中山 彩奈 (C)	29	0	13	3	2
5	* 田中 沙紀	14	4	1	0	0
6	竹中 彩絵	2	0	1	0	1
7	田原 ひまわり	0	0	0	0	0
8	* 白石 翔子	8	1	2	1	2
9	中村 百花	0	0	0	0	0
10	* 永井 美帆	9	1	3	0	4
11	村上 梨緒菜	2	0	1	0	1
12	久保 愛后	0	0	0	0	0
13	河野 葵	-	-	-	-	-
14	溝内 幸音	0	0	0	0	0
15	* 窪田 夏帆	0	0	0	0	1
コーチ 小園 裕之						
合計		64	6	21	4	11

慶誠

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	山野 萌	2	0	1	0	0
5	村上 文香	6	0	3	0	1
6	古田 なつみ	0	0	0	0	0
7	坂西 祐璃	0	0	0	0	0
8	* 中尾 うらら	11	1	4	0	0
9	生田 ひかる	0	0	0	0	0
10	國松 愛依	2	0	1	0	0
11	* 野口 芙希 (C)	14	0	6	2	1
12	* 川口 百合亜	27	0	12	3	2
13	坂口 日奈子	6	0	3	0	0
14	* 白石 楓夏	17	1	7	0	3
15	* 里 茜莉	4	0	2	0	0
コーチ 伊藤 敏幸						
合計		89	2	39	5	7

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

1Q 両チームともハーフコートマンツーマンでスタートする。序盤、慶誠が#11野口のリバウンドショットや#14白石のミドルシュートなどで11対2とリードを広げ、鹿純がタイムアウトを取る。その後、鹿純#4中山のターンショットなどで応戦するも、慶誠#11野口、#12川口、#14白石のインサイド陣の高さのまゝに点差を広げられ、30対10の慶誠リードで1Q終了。

2Q 鹿純はオールコートのゾーンプレスからハーフコートの2-3のゾーンディフェンスに切り替え、前線からプレッシャーをかけ慶誠のターンオーバーを誘う。中盤鹿純#5田中の2連続3Pなどが決まり34対22と差をつめたところで慶誠タイムアウト。タイムアウト後も鹿純の2-3のゾーンディフェンスが効き、一時は10点差まで詰めるも、慶誠#12川口のリング下のショットやブレイクからのレイアップ、#8中尾の3Pなど立て続けに13点を奪い、49対28とリードを再び広げ前半終了。

3Q 立ち上がりから鹿純のプレスが効き、#5田中の3P、#4中山のミドルシュートが決まり流れが鹿純に傾きかけたところで慶誠がタイムアウトを取る。そこから慶誠は#14白石を起点にパスを繋ぎ徐々にゾーンを攻略し、一進一退の攻防が続き61対45で慶誠がリードを保ったまま3Q終了。

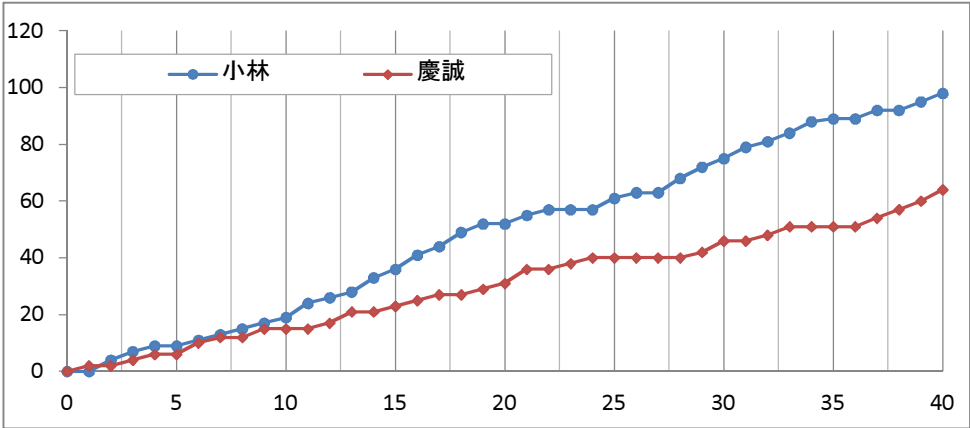
4Q 序盤は両チームともシュートが決まらず守り合いとなるが、中盤にかけて再び慶誠の高さが目立ち始め、次々とリバウンドショットを沈めリードを広げていく。鹿純も#4中山を中心にシュートを決めていくが、終始制空権を握った慶誠が89対64とリードを広げ勝利を収めた。

記事者	廣森 拓也	(所属)	鹿児島県バスケットボール協会
-----	-------	------	----------------

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

女子準決勝	小林 98	$\left(\begin{array}{l} 19 - 15 \\ 33 - 16 \\ 23 - 15 \\ 23 - 18 \\ - \end{array} \right)$	64 慶誠
主審 宮城 由紀	(宮崎1位) ○		● (熊本1位)
副審 藤城 真理			
副審 坂元 孝浩			

No. 21A1 日時: 2015年6月21日(日) 9:00 会場: 鹿児島アリーナA1



小林

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 夏井 麻朱 (C)	12	1	4	1	1
5	* 山田 有紀子	15	0	6	3	2
6	二又 ひなの	6	2	0	0	0
7	渡口 杏奈	0	0	0	0	0
8	* 大石 莉	28	8	2	0	1
9	松崎 扶実子	3	1	0	0	0
10	* 外山 芹香	11	1	3	2	3
11	岩切 満梨乃	0	0	0	0	0
12	成崎 晶	0	0	0	0	0
13	山本 真菜実	0	0	0	0	1
14	六ヶ所 希望	6	0	3	0	1
15	* 加治屋 千遥	17	0	7	3	2
コーチ	前村 かおり					0
合計		98	13	25	9	11

慶誠

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	山野 萌	9	1	3	0	2
5	村上 文香	3	1	0	0	0
6	古田 なつみ	0	0	0	0	0
7	坂西 祐璃	4	0	2	0	1
8	* 中尾 うらら	0	0	0	0	0
9	生田 ひかる	4	0	2	0	2
10	國松 愛依	3	0	1	1	1
11	* 野口 芙希 (C)	7	1	1	2	2
12	* 川口 百合亜	20	0	10	0	1
13	坂口 日奈子	3	1	0	0	0
14	* 白石 楓夏	7	1	2	0	1
15	* 里 茜莉	4	0	2	0	0
コーチ	伊藤 敏幸					0
合計		64	5	23	3	10

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

両チームともマンツーマンでスタート。小林#15加治屋がインサイドでのシュートを決めれば、慶誠#11野口が取り返す。小林#5山田がリバウンドからのバックシュートを決めれば、慶誠#12川口の力強いドライブで追隨する。一進一退の攻防でどちらも流れを渡さず、1Qを終わって19-15で小林4点のリード。

2Q、#5山田のシュート、#8大石の3Pで小林に流れが傾く。慶誠も#7坂西の速攻などで必死に食らいつくが、小林#10外山の3Pが決まり10点差がついたところで、慶誠はたまたまタイムアウト。慶誠は#12川口のジャンプシュートなどで追いつがるが、小林#8大石がこのクォーターだけで6本の3Pを決め、点差を一気に広げた。前半を終わって52-31。

3Qは再び一進一退の攻防。小林も#4夏井らが隙のないディフェンスで相手にいいシュートを打たせない。慶誠も厳しいディフェンスを見せ、得点を許さない。得点が動き始めたのは4分過ぎ。小林#14六ヶ所が#11岩切からの合わせでシュートを決めるなどして突き放す。慶誠も#12川口が5本のシュートを決めるが、ミドルシュートが決まらない。3Q終わって75-46。

4Qは、小林#10外山、#15加治屋らが得点を重ねる。慶誠も#4山野、#13坂口、#5村上の連続3Pで差を詰め粘る。しかし、最後は交代した#6二又、#9成崎が3本の3Pを連続で決め突き放した。

98-64で小林の勝利。この試合、小林は13本の3Pを決めた。

記載者 西元 晃一郎 (所属) 鹿児島県バスケットボール協会

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

女子準決勝

主審 窪田 淑子

副審 國吉 由華

副審 隈元 ゆみこ

延岡学園 76

(宮崎2位) ○

22	—	16
21	—	10
10	—	26
23	—	22
—		

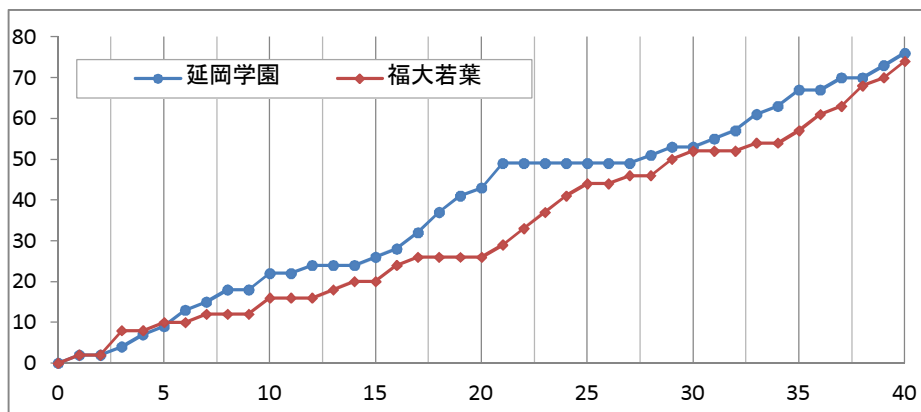
74 福大若葉

● (福岡1位)

No. 21C1

日時: 2015年6月21日(日) 9:00

会場: 鹿児島アリーナC1



延岡学園

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	徳満 響希 (C)	0	0	0	0	0
5	バブルメイレ アブドル	—	—	—	—	—
6	河原 真香	5	1	1	0	1
7	* 千々岩 美菜	7	1	1	2	2
8	柳田 波希	8	2	1	0	3
9	* 岩崎 みなみ	15	2	4	1	2
10	尾前 真優	4	0	2	0	0
11	* 白川 万智	8	0	2	4	0
12	稲留 玲奈	3	0	1	1	2
13	* 小松 由奈	3	1	0	0	0
14	赤木 夏海	0	0	0	0	0
15	* ニャン アラム	23	0	10	3	3
コーチ 内村 昌弘						
合計		76	7	22	11	13

福大若葉

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 永野 倫后 (C)	17	1	6	2	4
5	* 内尾 聡菜	20	2	7	0	4
6	福本 萌香	0	0	0	0	0
7	* 渡辺 満里奈	20	2	7	0	4
8	笠井 桜可	—	—	—	—	—
9	嘉数 唯	—	—	—	—	—
10	中嶋 まひろ	—	—	—	—	—
11	* 三輪 真子	3	1	0	0	2
12	鬼塚 彩乃	—	—	—	—	—
13	曾我部 希子	—	—	—	—	—
14	沼野 かえで	0	0	0	0	0
15	* ニノ宮 可南	14	0	7	0	3
コーチ 池田 憲二						
合計		74	6	27	2	17

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

1Q、両チームともディフェンスはハーフコートマンツーマンからスタート。延岡学園#11白川のドライブからのシュートでゲームは開始する。その後すぐに福大若葉#7渡辺がゴール下のシュートを沈めて2対2となる。そこから両チームとも崩すことが出来ず、外からのシュートが多くなり、2分ほど得点が入らないが、福大若葉#7渡辺が均衡を破る3Pを決める。延岡学園は#15ニャンを起点に攻めるようになるとリズムを立て直し得点を重ねていくが、福大若葉は中を攻めることが出来ず、ジャンプシュートが入らず流れは徐々に延岡学園に向いていく。その流れのまま延岡学園22-16福大若葉で1Q終了。2Qも両チームマンツーマンディフェンスでスタート。延岡学園が先制得点を入れるがそこから福大若葉#5内尾のドライブやハイ&ローのコンビネーションで連続得点し、4点差まで詰めるとたまたま延岡学園がタイムアウトを取る。タイムアウト後は延岡学園#15ニャンの4連続得点などで流れが延岡学園に変わる。ここで福大若葉もタイムアウトを取り、自分たちに流れを戻したかったが、タイムアウト明けすぐ延岡学園#15ニャンのシュートや#10尾前のパスカンで更に流れを持っていかれ、2回目のタイムアウトを取るが流れは変わらずシュートも入らなくなり前半を延岡学園43-26福大若葉で終了する。3Q両チームハーフマンツーマンでスタート。開始すぐに延岡学園#7千々岩、#9岩崎がスリーを沈め点差が20点開く。しかし福大若葉#5内尾のスリーを皮切りに3連続ターンオーバーからの速攻を決め、点差を8点差に縮めると延岡学園がタイムアウトを取る。タイムアウト明け延岡学園は#15ニャンを起点に攻めようとするがなかなかボールが入らず、外からのシュートも入らない。延岡学園は開始早々のスリー後から残り3分まで得点を取ることが出来ず、福大若葉の怒濤の追い上げもあり3Q延岡学園53-52福大若葉で終了する。4Q両チームハーフマンツーマンでスタート。延岡学園#6河原のカットインで先制すると#7千々岩、#15ニャンのゴール下、#9岩崎のターンオーバーからのレイアップで点差を広げると福大若葉がタイムアウトを取る。流れを変えたかった福大若葉であったが延岡学園#8柳田の連続スリーポイントで更に離され2回目のタイムアウトを取る。タイムアウト明け、福大若葉#7渡辺のスリーポイントが決まるとターンオーバーからの連続得点で流れを引き戻すとここで延岡学園がタイムアウトを取る。タイムアウト明け、福大若葉が#11三輪のスリーポイントなどで点差を2点差まで詰めてくるが、延岡学園も粘りの攻撃を見せ延岡学園76-74福大若葉で延岡学園が勝利した。

記載者 上岡 孝輔 (所属) 鹿児島県バスケットボール協会

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

女子決勝

主審 福岡 敏徳
副審 御手洗 亮
副審 山口 波穂

小林 76

(宮崎1位) ○

61 延岡学園

● (宮崎2位)

24 - 14

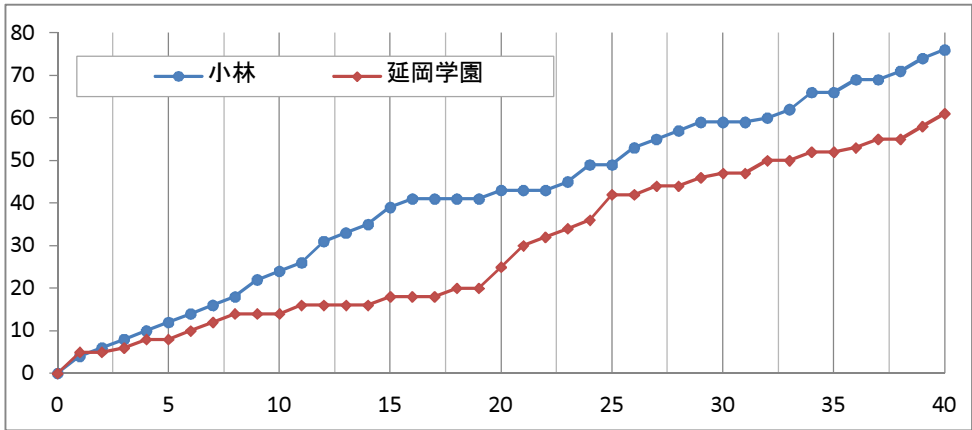
19 - 11

16 - 22

17 - 14

-

No. 21A3 日時: 2015年6月21日(日) 12:00 会場: 鹿児島アリーナA3



小林

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 夏井 麻朱 (C)	16	0	5	6	1
5	* 山田 有紀子	22	0	10	2	3
6	二又 ひなの	-	-	-	-	-
7	渡口 杏奈	-	-	-	-	-
8	* 大石 莉	0	0	0	0	2
9	松崎 扶実子	-	-	-	-	-
10	* 外山 芹香	24	2	8	2	2
11	岩切 満梨乃	-	-	-	-	-
12	成崎 晶	-	-	-	-	-
13	山本 真菜実	-	-	-	-	-
14	六ヶ所 希望	-	-	-	-	-
15	* 加治屋 千遥	14	0	6	2	3
コーチ 前村 かおり						
合計		76	2	29	12	11

延岡学園

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	徳満 響希	-	-	-	-	-
5	バ フルメイレ アブドル	-	-	-	-	-
6	* 河原 真香	3	1	0	0	1
7	* 千々岩 美菜	2	0	1	0	1
8	柳田 波希	2	0	1	0	0
9	* 岩崎 みなみ (C)	10	2	1	2	3
10	尾前 真優	0	0	0	0	0
11	* 白川 万智	12	2	3	0	3
12	稲留 玲奈	2	0	1	0	1
13	小松 由奈	6	2	0	0	0
14	赤木 夏海	0	0	0	0	1
15	* ニャン アラム	24	0	11	2	1
コーチ 内村 昌弘						
合計		61	7	18	4	11

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

宮崎県勢同士の戦いとなった決勝。第1ピリオド、両チームともハーフコートマンツールでスタート。延岡学園は開始早々#11白川の3Pで先制。対する小林高校は動じずに#15加治屋のミドルシュートで得点。一進一退の攻防が続く中、残り1分30秒で小林#5山田が連続2ゴール得点し、8点差に広げる。さらに残り4秒、小林#4夏井がドライブからファウルを誘い、フリースローを2本とも決め、10点差に広げる。24対14、小林リードで第1ピリオド終了。第2ピリオド、小林#5山田のゴール下シュート、#10外山の3Pで一気に15点差まで広げると、延岡学園はたまたま前半1つ目のタイムアウトをとる。再開後、なんとかリズムを取り戻したい延岡学園だが、約3分間ノーゴールが続く。その間、小林は#15加治屋や#5山田を中心に着実に得点を重ね、22点差に広げる。残り4分となったところで延岡学園、前半2つ目のタイムアウト。再開後、延岡学園は#15ニャンのゴール下シュートや#11白川の3Pで得点を重ね必死の反撃を試みる。一方、小林は約2分間ノーゴールが続くが、必死に守りぬき、第2ピリオド43対25、小林18点リードで終了。第3ピリオド、延岡学園が#13小松の3P、#15ニャンのゴール下シュート、#11白川のミドルシュート、#9岩崎の3Pなどで怒涛の攻撃を展開し、残り6分で一気に9点差まで詰め寄る。対する小林は、#15加治屋のミドルシュートや#4夏井のドライブからのシュートや速攻からのレイアップシュートなど、確実に得点を重ね、延岡学園の猛追を許さず、59対47、小林12点リードで第3ピリオド終了。第4ピリオド、立ち上がり延岡学園#6河原の3Pで再び9点差に詰め寄るも、小林は#4夏井や#10外山のフリースロー、#5山田のゴール下シュートを決めていく。なんとか局目の打開を図りたい延岡学園だがリズムに乗れず、なかなか点差を縮めることができない。小林は#5山田のミドルシュートや#10外山の3Pでさらに得点を重ねていく。残り1分、延岡学園#9岩崎と#10尾前の連続3Pが決まり、最後の追い上げを見せるが、粘る延岡学園を小林が振り切り、76対61で試合終了。小林が優勝の栄冠に輝き、九州の頂点に立った。

記載者 須貝 佳奈子 (所属) 鹿児島県バスケットボール協会

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

女子シード決定戦

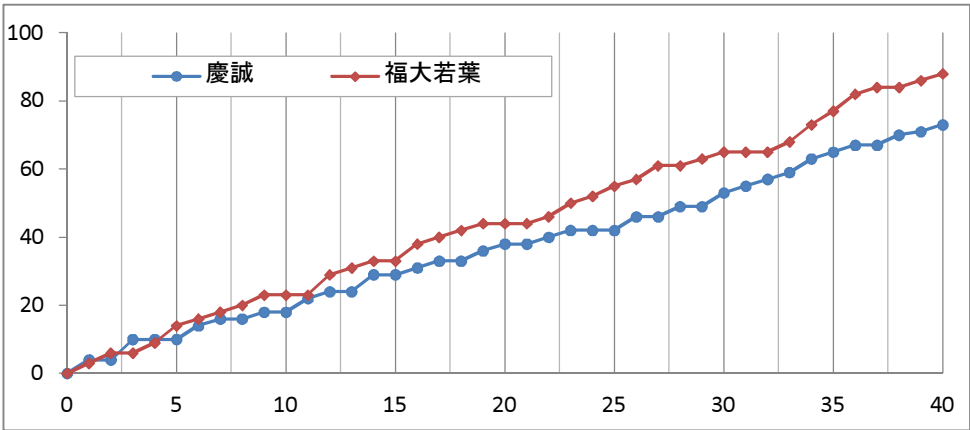
主審 神丸 一祐
副審 安藤 剛
副審 石嶺 良方

慶誠 73
(熊本1位) ●

18 - 23
20 - 21
15 - 21
20 - 23
—

88 福大若葉
○ (福岡1位)

No. 21C3 日時: 2015年6月21日(日) 12:00 会場: 鹿児島アリーナC3



慶誠

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	山野 萌	2	0	1	0	0
5	村上 文香	0	0	0	0	0
6	古田 なつみ	0	0	0	0	0
7	坂西 祐璃	2	0	1	0	1
8	* 中尾 うらら	0	0	0	0	0
9	生田 ひかる	0	0	0	0	0
10	國松 愛依	7	0	3	1	2
11	* 野口 芙希 (C)	6	0	1	4	5
12	* 川口 百合亜	22	0	9	4	3
13	坂口 日奈子	8	2	1	0	1
14	* 白石 楓夏	22	0	10	2	4
15	* 里 茜莉	4	0	2	0	4
コーチ 伊藤 敏幸						
合計		73	2	28	11	20

福大若葉

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 永野 倫后 (C)	25	3	7	2	3
5	* 内尾 聡菜	20	0	7	6	4
6	福本 萌香	0	0	0	0	1
7	* 渡辺 満里奈	17	3	3	2	4
8	笠井 桜可	0	0	0	0	0
9	嘉数 唯	2	0	1	0	1
10	中嶋 まひろ	0	0	0	0	0
11	* 三輪 眞子	4	1	0	1	1
12	鬼塚 彩乃	0	0	0	0	0
13	曾我部 希子	2	0	1	0	0
14	沼野 かえで	0	0	0	0	0
15	* 二ノ宮 可南	18	0	9	0	4
コーチ 池田 憲二						
合計		88	7	28	11	18

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦 評

両チームともマンツーマンディフェンス。先制したのは慶誠#11野口の2Pシュート、その後も#14白石の連続シュートと#11野口のFTなどで序盤は10-6で慶誠リード。しかし若葉は#15二ノ宮のパスカットからの速攻、#11三輪の3Pと立て続けにシュートを決め、14-10と逆転に成功、流れは若葉に。その後、両チームとも得点を重ね、第1ピリオドは23-18で若葉リード。第2ピリオド開始早々、慶誠は#12川口のFT、#14白石の2Pシュートで22-23と1点差に詰め寄るが、若葉は#4永野の3P、FTや#5内尾の2Pシュートで簡単には逆転を許さない展開。慶誠は#12川口の2P、#13坂口の3Pシュートに対し、若葉は#5内尾、#7渡辺、#15二ノ宮の2Pシュートで応酬、どちらも得点を重ね44-38若葉リードで前半終了。第3ピリオド、若葉はキャプテン#4永野が自らの積極的な攻撃でリードを広げていく。#4永野は、このピリオドだけで13得点と自らの力で流れを若葉へ持っていく。慶誠は#10國松の2P、#15里のパスカンなどで何とか流れを引き戻したいが、65-53若葉がリードを広げて第3ピリオド終了。第4ピリオド、開始2分で慶誠は#10國松、#12川口の連続シュートで57-65と8点差に詰め寄る。しかし、若葉は#5内尾のパスカン、#7渡辺のシュートで持ちこたえる。慶誠は残り4:26で最後のタイムアウトを請求、オールコートディフェンスでプレッシャーをかけ、何とか相手のミスを誘うが、若葉は#15二ノ宮、#9嘉数、#13曾我部のシュートでリードを広げ、追い詰る慶誠を退けた。慶誠は#12川口、#14白石らのゴール下でのポストプレーがよく決まり、今後の活躍が期待される。

記載者 岩下 さおり (所属) 鹿児島県バスケットボール協会